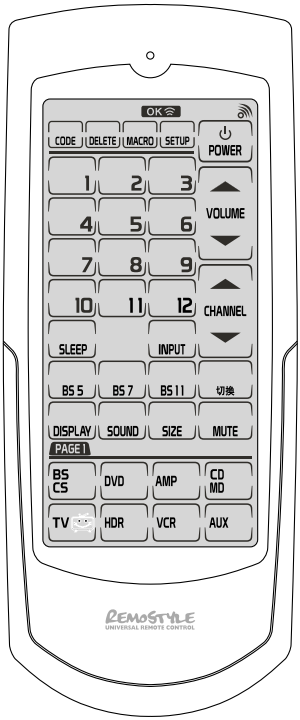
REMOSTYLE
UNIVERSAL REMOTE CONTROL

ARS-3000

取扱説明書



もくじ

はじめに

使ってみる

学習する

コード設定

マクロ設定

本体設定

故障かな?

付　録

■ご利用いただくまえに…

ARS-3000 液晶タッチパネル学習リモコン『REMOSTYLE』（以下、『リモスタイル』）をお買い上げいただきありがとうございます。
ご使用になるまえに、この取扱説明書を必ずお読みになってください。

- **『リモスタイル』は、赤外線インターフェースを持つほぼすべて※1（業務用機器を除く）の電化製品の赤外線式リモコン信号を学習・記憶して操作することができます。**
- **『リモスタイル』は簡単な操作で、通常8機種×2ページの最大16機器、最大で896キーの異なる操作を可能にします。※2**
- **簡単操作のリモコン信号学習機能を使用して、複数のリモコンによる煩わしい操作を1台で操作することができます。**
- **連続したキー操作を記憶するマクロ機能により、1度のキー操作で最大60ステップまでの信号を順番に送信することができます。**
- **選んだ機器に応じて、液晶表示が変わり、操作に必要なキーだけを表示させることができる、操作感に優れた液晶タッチパネルを搭載しています。**
- **操作確認に便利なキータッチ音（音質を3種類、もしくはOFFから選択可能）。また暗い場所でも使える青色バックライト（自動ON／OFF）付きです。**
- **例えば、液晶画面上にテレビとビデオの操作キーを同時に表示させるなど、ユーザーの使いやすいように液晶の表示を組合わせることができます。**

※1　まれに学習できない機器（エアコンなど）があります。
※2　記憶する信号の容量によって、最大記憶数が異なる場合があります。

⚠警告　**下記の注意事項を守らないと、火災、感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。**

- この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と、製品の正しい取り扱い方を記載してあります。よくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。
- お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

本文中の**鉛筆マーク**は、実際にご使用いただくうえでのより詳しい説明や、便利な機能について記載しています。ぜひ、お役立てください。

もくじ

はじめに
使用上のご注意…… 4
梱包品の確認…… 6
各部の名前と働き…… 7

使ってみる
乾電池を入れる…… 8
乾電池使用上のご注意…… 9
液晶タッチパネルについて…… 9

学習する
設定画面に入るには…… 10
他のリモコン信号を学習する…… 12
キー配置を編集する…… 14

コード設定
メーカーコードの設定…… 16
メーカーコードの自動設定…… 17
キーコードの削除…… 18

マクロ設定
マクロ設定について…… 20
新規にマクロを設定する…… 20
マクロ設定の確認と中断…… 22

本体設定
ビープ音の設定…… 23
バックライトセンサー感度の設定…… 24
バックライト点灯時間の設定…… 25

故障かな?
“故障かな?”と思う前に…… 26
修理に出される前に…… 30
保証とアフターサービスのご案内…… 31

付　録
クローンの作成…… 32
機能および仕様書…… 34
免責事項について…… 35

『リモスタイル』は安全に充分配慮して設計･製造されています。
しかし、すべての電気製品は、まちがった使い方をすると火災や感電などにより人身事故になることがあります。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

■安全のための注意事項を守る

■故障したら使わない

動作がおかしくなったり、破損しているのに気づいたら、すぐにお買上げ店または『リモスタイル』サポート窓口までご連絡ください。
サポート受付は、電子メールまたはファクスにて行っております。

ご質問、ご相談、故障の場合も、まず問い合せ先にご連絡をお願いいたします。

（➡P.30）

⚠警告 **下記の注意事項を守らないと、火災、感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。**

■幼児やペットなどに誤って触らせない

このリモコンは、オーディオ･ビデオ機器に加えて、学習機能により冷暖房器具や電気器具なども操作できるため、幼児やペットが誤って操作すると火災や大けがなどの原因となります。
使用後は、幼児やペットなどが誤って触らないように、手の届かないところに置くようにしてください。

⚠警告 **下記の注意事項を守らないと、けがをしたり、周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。**

■リモコン内部に水など液体や異物を入れない

水など液体をかけないでください。また、水などが直接かかる場所や風呂場など湿気の多い場所での使用は避けてください。
万一、液体がかかってしまった場合、直ちに電池を取り外したうえで、お買い上げ店、または弊社サポートまでご相談ください。
水ぬれや湿気による故障は保証対象外となり、基本的に修理対応できません。

⚠警告 **下記の注意事項を守らないと、けがをしたり、周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。**

■内部を開けたり、修理・改造をしない

感電の原因となることがあります。
内部の点検や修理はお買い上げ店、または弊社サポートまでご依頼ください。

■安定した場所に置く

ぐらついた台の上や傾いたところ、滑りやすいところに置くと、製品が落ちてけがの原因となったり、故障する場合があります。
また、置き場所の強度についても充分に確認してください。

■液晶タッチパネルご使用上の注意

・落したり、投げたり、踏んだりといった強い衝撃を与えないでください。
・本機のうえに乗ったり、重いものを載せないでください。
壊れたり、けがの原因となる場合があります。
・製品内部には、ガラス材を使用している部分があります。
・特に液晶パネル面はデリケートですので、取り扱いにご注意ください。
・液晶パネル面やパネルの外枠は強く押したりひねったりしないでください。
・強く押すと、表示異常を起こすことがありますので取り扱いにご注意ください。
・また、液晶パネル面に圧力を加えたままにしておきますと、液晶の劣化やパネルの破損などにつながる恐れがあります。

・液晶パネルを硬い物質や、先の尖ったもの（ペン先、ピンセット）などで操作したり、押したり、こすったり、強打したりしないようにしてください。液晶画面に傷がつく恐れがあります。
なお、ティッシュペーパーなどで強くこすっても傷がつく場合がありますのでご注意ください。

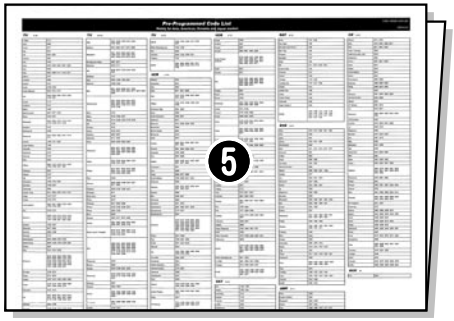
・液晶パネルが破損しても、破損部分は直接素手で触れないでください。
もし触れてしまった場合、水で手をよく洗ってください。
・万一、漏れ出た液晶が、誤って口や目に入った時は、水ですぐに口や目をよく洗い、医師の診断を受けてください。そのまま放置した場合、中毒を起こす恐れがあります。
・青色バックライトを長時間見続けると視力障害を起こす可能性がありますのでご注意ください。

梱包品の確認

『リモスタイル』の箱には、以下のものが同梱されています。
不備がないか内容をご確認ください。

❶ ARS-3000 液晶タッチパネル学習リモコン本体
❷ 単4型乾電池4本（実際に使用するのは3本）
❸ 取扱説明書（本書）
❹ 保証書
❺ プリセットコードリスト

上記梱包品のうちのどれかが見当たらないか、万一破損している場合、お買い上げ店に直ちにご連絡ください。
また、修理等で『リモスタイル』を送る必要がある場合に備えて、外箱は保管していただけますようお願いいたします。



■赤外線送信部

各機器をコントロールする信号を出します。
コントロールしたい機器に向けて操作します。

■ライトセンサー部

このセンサーにより、まわりの光を判別し、バックライトの自動ON／OFF をします。

■システム設定キー

この4つのキーにより学習や設定をします。
各キーを**3秒間長押し**することによって各設定モードに入ることができます。

■液晶タッチパネル

液晶面をタッチしてリモコン信号を送信したり、リモコン信号の学習、設定をします。
通常キー操作では、1回ビープ音がします。

■バックライト

液晶バックライトは、まわりが暗くなると操作時に自動的に点灯します。
その際、ライトセンサーの感度を6段階に調整することができます。

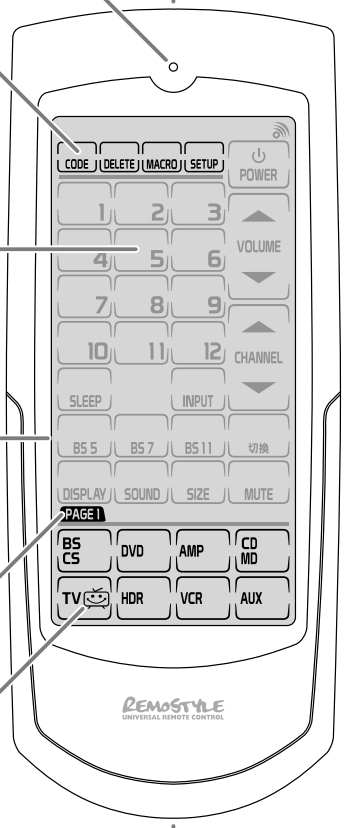
■ページ表示

■デバイスキー

8種類のボタンで操作したい機器や、それぞれの機器の各ページを選択します。
通常操作時には、2回ビープ音がします。

■赤外線受信部

学習したいリモコンの信号をここに向けて操作します。



それでは実際に『リモスタイル』を使用しましょう
まず、下記手順に従い乾電池を入れます

■乾電池を入れる

下記に従って単4型乾電池3本（付属）を入れます。

❶ 本体裏面にある**▲OPEN**の向きのとおりに電池のフタを開けます。

❷ 単4型乾電池3本（付属）を入れます。その際に**＋（プラス）**と**－（マイナス）**の向きが電池ボックス底面の表示どおりになるようにします。

❸ 電池のフタを元の位置に戻します。

■電池残量表示

電池が消耗すると下図、**電池消耗アイコン**が点灯します。
電池消耗アイコンが点灯したとき、またはリモコンの動作距離が短くなったときは、3本とも新しい電池と交換してください。

電池消耗アイコン

電池消耗アイコン位置

電池消耗アイコンが点灯した後も、しばらくの間はご使用いただけますが、誤動作の原因となりますので、早めの電池交換をお願いいたします。

⚠警告 **下記の注意事項を守らないと、火災、感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。**

■電池使用上のご注意

乾電池の誤った使い方をしますと「液漏れ」「発熱」「発火」「破裂」「誤飲」などをする危険がありますので下記のことを必ずお守りください。

- 乾電池は充電しない。火のなかに入れない。ショートさせたり、分解、加熱しない。
- 乾電池の＋（プラス）とー（マイナス）の向きを電池ボックス底面の表示どおり正しく入れます。
- 電池を使い切ったとき、長時間使用しないときは、取り出しておく。
- 新しい電池と使用した電池、種類の違う電池を混ぜて使わない。
- もし、電池の液が漏れたときは、よくふき取ってから、新しい電池に交換してください。
- 万一、漏れた液が衣服や身体、その他に付いたときは、水でよく洗い流してください。
- 小さなお子様が誤って飲むことがないように、小さなお子様の手の届かないところに置いてください。万一、飲み込んだ場合は、直ちに医師と相談してください。
- 同梱の乾電池は動作確認用ですので、早めに交換してください。
- 本製品で使用できる乾電池は、市販されている「単4型アルカリ乾電池」または「単4型マンガン乾電池」です。なお、充電池には対応しておりません。
- なお、乾電池に表示されている注意事項もあわせてお読みください。

■液晶タッチパネルについて

各機器の操作に関係するボタンなどを表示します。
基本的な操作はタッチパネルに触れて行います。

■液晶表示について

『リモスタイル』は、本体内部にモーションセンサーを内蔵し、振動を感知すると自動的に電源が入り、液晶画面の表示を行います。
最後のリモコン操作から90秒後に自動的に電源が切れ、液晶画面が非表示となる省電力モードを内蔵しています。

■液晶バックライトについて

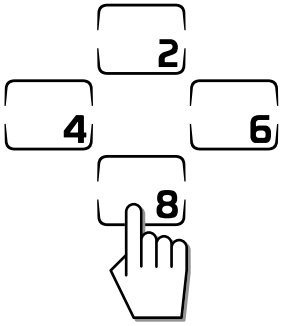
内蔵されたライトセンサーにより、周囲の環境に応じて自動的にバックライトをON／OFFします。
その際に、バックライトの点灯時間を10～60秒まで設定できます。**（➡P.25）**

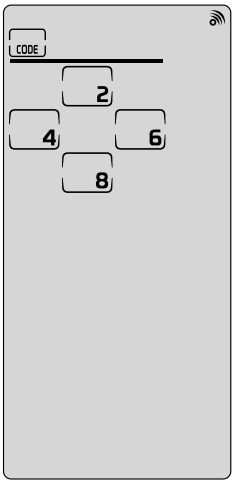
設定画面に入るには

各設定画面に入るためには、の4つのシステム設定キーの中から必要なキーを**3秒間長押し**してください。

システム設定キー位置

すると誤動作防止のための確認スクリーンが現われます。表示された**4個の数字キー（2・4・6・8）すべて**を押し、**設定モード**に入ります（4個の数字キーを押す順番は問いません）。





確認スクリーン

設定時に使用する主なキーについては、次ページをご覧ください。

キーの名前とアイコン表示	いつ使用する?	サブ表示	操作できる内容
デバイスキー	操作したい機器の選択		操作したい機器の選択や各ページを選択します
	キー表示の変更 キー配置の変更	KEY	キーの表示や配置を変更します **(➡P.14)**
コードキー	メーカーコードの自動／手動設定	CODE	本体にあらかじめ記憶済のプリセットコードを設定します**(➡P.16)**
	他リモコン信号の学習	LEARN	他のリモコン信号を『リモスタイル』に学習します**(➡P.12)**
消去キー	消去とリセット	KEY	キーコードの個別削除**(➡P.18)**
		BANK	キーコードのページ削除**(➡P.18)**
		KEY BANK	全てのキーコードの削除**(➡P.19)**
マクロキー	マクロの設定	MACRO	連続したボタン操作を記憶するマクロを設定します**(➡P.20)**
システム設定キー	バックライトとビープ音の設定	ライト	バックライトセンサーの感度と点灯時間を設定します**(➡P.24,25)**
			ビープ音の設定**(➡P.23)**
	全データの転送	CODE	オプションケーブルを使用して別の『リモスタイル』に全データを転送する**(➡P.32)**

お持ちのリモコンの信号を学習する

❶学習を始める前に『リモスタイル』の底部（赤外線受信部）とコピー元リモコンの赤外線送信部が向い合うように、平らな台の上などにセットします。

❷システム設定キー [CODE] を**3秒間長押し**して確認画面にし、**4つの数字キー**を押し消去すると液晶画面の上部に CODE が表示されます。

❸[▲] または [▼] を押して LEARN が表示されたら [●] を押して学習モードにします。

❹デバイスキーを押して学習したい機器を選択します。

❺すると右図のように表示され、[POWER] が点滅します。
点滅しているキーから順番に学習が可能です。

❻学習するには、コピー元リモコンの送信部を『リモスタイル』底部の受信部に向け、電源キーの操作をして信号を送信します。
その際、各リモコン間の距離は5～10cmを保つようにし、コピー元リモコンの送信部が、『リモスタイル』の受光部と確実に向き合うようにします。

キー点滅は **“学習可能な状態”** を示しています。
その状態でコピー元リモコンの信号を送信し、学習に成功すると、液晶画面の上部に OK が表示されます。
もし、学習に失敗すると エラー が表示されますので、もう1度、学習を繰り返してください。

❼ 1つのキーの学習に成功すると、自動的に次に学習できるキーが点滅して、『リモスタイル』が学習の行程をガイドしていきます。

この際、学習したいキーを直接押すことで、次に学習するキーを指定することもできます。

❽ 学習モード時、すでにキーにコードが設定済の場合、液晶画面の上部に CODE と LEARN の2つが表示されます（新たに上書き学習することも可能です）。

デバイスキー自体にも他のリモコン信号を学習させることができます。学習モード時に学習させたいデバイスキーを**3秒間長押し**するとデバイスキー内のアイコンが点滅します。
他のキーと同様に学習に成功すると OK が表示され、学習に成功したことが確認できます。
もし、学習に失敗すると エラー が表示されますのでもう一度、学習を繰返してください。

❾ キーの学習が全て終ると自動的に PAGE 2 が表示され、次ページの学習が始ります。この際に学習したいキーを押して指定し学習する順番を変えることができます。

❿ EXIT を2回押して、学習モードを終了します。

例えば、テレビの音量やビデオの早送りなど、コピー元リモコンの**ボタンを押している時間**によってリモコン信号の内容が異なる場合があります。
その場合、学習の際に、**ボタンを1〜3秒程度長押しして学習する**ようにします。

必要に応じて不要なキーを削除したり、違うキーを表示する

❶ デバイスキーのいずれかを**3秒間長押し**して確認画面にします。

❷ **4つの数字キー**を押し消去すると、液晶画面の上部に KEY が表示され、キー表示設定モードになります。

❸ すると、右図のように表示されますので、変更したいキーを何度か押して希望するキー表示にします。

❹ 例えば、10 のキーであれば下記の順番にキー表示が変化しますので、希望の表示になるまでキーを何度か押します。

10 ➡ 非表示 ➡ [ ] ➡ MENU ➡ DUB ➡ 0

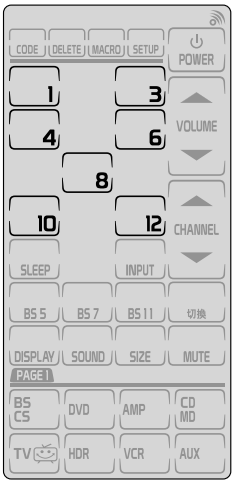
デバイスキー位置

キー表示変更時に KEY を押すと液晶画面に表示可能な全てのキーが表示されます。

❺ 続けてデバイスキーを押して他のページ、他の機器のキーの編集をすることもできます。

❻ OK を2回押して、キー表示設定モードを終了します。

例えば、TV の操作画面で、不要なキーは表示せず、普段使用するテレビチャンネルだけを表示するなど、独自に使い易く編集することができます。



チャンネル表示設定例

例）テレビの11チャンネル表示を消す

❶ デバイスキー [TV] を**3秒間長押し**して確認画面にします。

❷ **4つの数字キー**を押し、消去すると液晶画面の上部に [KEY] が表示されます。

❸ [11] を1度押すと表示が消えます。

❹ [OK] を押して、キー表示設定モードを終了します。

例）テレビの11チャンネルを再表示する

❶ デバイスキー [TV] を**3秒間長押し**して確認画面にします。

❷ **4つの数字キー**を押し、消去すると液晶画面の上部に [KEY] が表示されます。

❸ [11] のあった場所を1度押すと [　] が表示されます。

❹ もう1度押すと [スター] が表示されます。

❺ もう1度押すと [▲] が表示されます。

❻ もう1度押すと [AUTO] が表示されます。

❼ もう1度押すと [11] が再表示されます。

❽ [OK] を押して、キー表示設定モードを終了します。

最初に [TV] 以外のキーを押しても非表示／再表示の設定が可能です。
デバイスキーで機器を選択した後に、目的のキーを設定します。

あらかじめ記憶済（プリセット）のメーカーコードを設定する

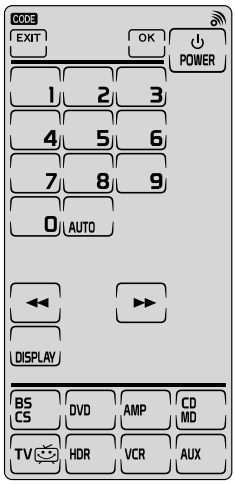
❶ システム設定キー [CODE] を**3秒間長押し**して確認画面にします。

❷ **4つの数字キー**を押し消去すると、液晶画面の上部に CODE が表示されますので、[●] を押してプリセットコード設定モードにします。

❸ すると右図のように表示されますので、コード設定したいデバイスキーを押します。（例:テレビ）

❹ 別紙のプリセットコード表を見ながら希望するメーカー名を探し、4桁の数字を入力します。

❺ 4桁の数字の入力が終わると、自動的にプリセットコード設定モードが終了します。



プリセットコード設定画面

例えば、ソニー社製のテレビなど、何種類ものコードが存在する機器があります。あなたのソニー社製のテレビで操作可能なコードを見つけるには、プリセットコードの設定・操作を何度か試してみる必要がある場合があります。

また、音量調整はできるが、二重音声切換ができないなど、設定したコードで完全に動作しない場合があります。
その場合、次ページの**自動設定**を試してみるのも良いかもしれません。

しかし、**最も簡単・確実なのはひとつひとつのリモコン信号を、コピー元のオリジナルリモコンから学習させていくこと**です。

あらかじめ記憶済（プリセット）のメーカーコードを自動設定する

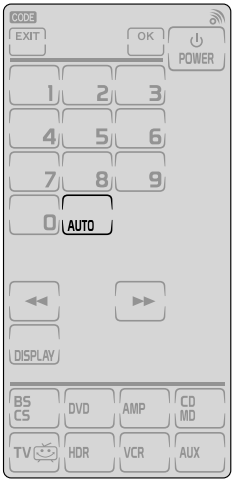
❶ システム設定キー［CODE］を**3秒間長押し**して確認画面にします。

❷ **4つの数字キー**を押し消去すると、液晶画面上部にCODEが表示されますので、［●］を押してプリセットコード設定モードにします。

❸ コード設定したいデバイスキーを押します。（例:テレビ）

❹ リモコン操作を設定する機器（ここではテレビ）の電源を入れます。

❺ ［AUTO］を押します。すると、自動的に次々とリモコン信号が送信され、検索モードになります。



自動設定ボタン位置

❻ リモコン信号が送信されている最中にテレビの電源がOFFになったら、直ちに液晶画面に触れます（どこでも可）。すると検索モードが終了します。

❼ ［POWER］を押した場合に、設定したいテレビの電源が入るように［◀◀］と［▶▶］を押して正確なプリセットコードを探します。
大抵の場合、［◀◀］を1度押してひとつ戻るようにします。

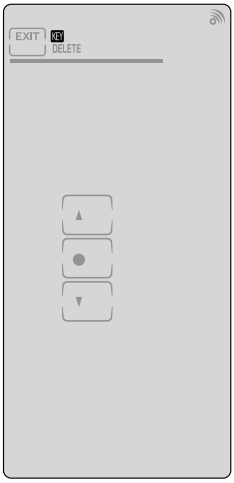
❽ ［POWER］を押して設定したい機器の電源のON／OFFができるかを確認します。

また、［DISPLAY］を押すことによって、現在設定されているプリセットコード番号を確認できます。

❾ ［OK］を押して、プリセットコード設定モードを終了します。

音量調整はできるが、二重音声切換ができないなど、設定したコードで完全に動作しない場合があります。その場合も、**最も簡単・確実なのはひとつひとつのリモコン信号を、コピー元のオリジナルリモコンから学習させていくこと**です。

個別にキーコードを削除する



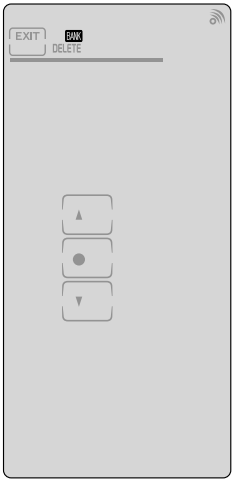
❶ システム設定キー [DELETE] を**3秒間長押し**して確認画面にし、**4つの数字キー**を押し消去すると、削除モードの選択画面になります。

❷ すると KEY が表示されますので [●] を押します。

❸ キーコードを削除したいキーを押します。
その際、OK が表示されます。

❹ 削除したいキー操作が終わったら、[EXIT] を2回押して、削除モードを終了します。

1ページ分のキーコードを削除する



❶ システム設定キー [DELETE] を**3秒間長押し**して確認画面にし、**4つの数字キー**を押し消去すると、削除モードの選択画面になります。

❷ [▲] か [▼] を押して BANK を表示します。そして [●] を押してページ削除モードにします。

❸ 削除したいページをデバイスキーで選択します。
ページが表示されたら [OK] を押して削除を実行します。

❹ 削除が終わると右図に戻りますので、ページ削除を続ける場合、❸ に戻り繰り返します。

❺ 削除したいキー操作が終わったら、[EXIT] を2回押して、削除モードを終了します。

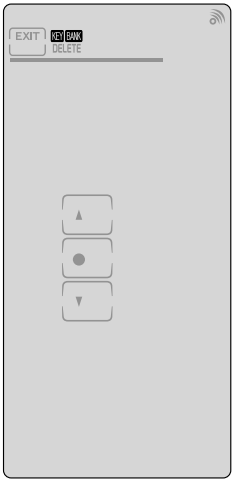
すべてのキーコードを削除する

❶ システム設定キー [DELETE] を**3秒間長押し**して確認画面にし、**4つの数字キー**を押し消去すると、削除モードの選択画面になります。

❷ [▲] か [▼] を押して KEY と BANK を表示します。

❸ そして [●] を押してページ削除モードにします。

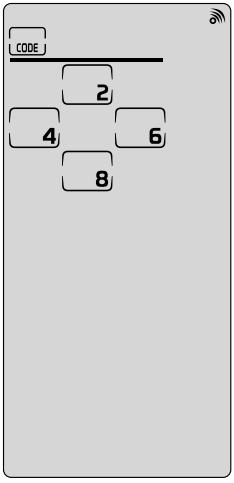
❹ すると、本当にすべてのキーコードを削除してよいか、再度確認のため、**もう1度、4つの数字キー**が表示されます。
4つのキーを消去すると自動的にすべてのキーコードが削除され、通常の操作画面に戻ります。



⚠注意 **すべてのキーコードを削除してしまうと、新たに学習をするかプリセットコードの設定をしないとリモコン操作が一切できなくなります。**

削除モードにおけるサブ表示の機能

KEY ： **単独** のキーコードを削除
BANK ： **1ページ分** のキーコードを削除
KEY BANK ： **すべて** のキーコードを削除



削除実行確認スクリーン

マクロについて

“マクロ”とは、**連続したキー操作を自動的に行う機能**です。
最大で60ステップまでのキー信号を、1度のキー操作で送信することが可能です。
その際、キー信号の送信間隔を1～9秒までの間で変えることができます。
例えば、ビデオデッキなど電源ONからテープの再生など、次の操作を受け付けるまで時間のかかる場合に、リモコンのキー信号の送信間隔を変えることができます。
マクロ機能はデバイスキーを除くすべてのキーに割り当てることができます。

⚠注意 **マクロを割り当てたキーは、以前に学習、または設定されていた内容が消去され、上書き記憶されますのでご注意ください。**

新規にマクロを設定する

マクロを設定する例として、**テレビをつけてDVDを再生する**という一連の操作をワンタッチで操作できるようにします。

❶ MACRO を**3秒間長押し**して確認画面にし**4つの数字キー**を押し消去するとマクロ設定画面になります。

❷ すると右図のように表示されますので、**マクロを設定したいキー**を選択します。

デバイスキーを押して、違うページやデバイスをかえ、任意のキーに設定することができます。

❸ キーを選択し終わると**ビープ音が3回**してマクロ設定モードがスタートしたことを知らせます。

すでにマクロを記憶済のキーを選択すると、新しいマクロは上書き記憶されます。

マクロ設定画面

❹『リモスタイル』に記憶させたいキー操作を実際に押していきます。

それでは実際に、“**TVをつけてDVDを再生する”** という操作のマクロを設定します。

1. TV **テレビデバイスキー**を押します。
（リモコンのデバイスをテレビにする）

2. POWER **POWERキー(TV)**を押します。
（テレビの電源を入れる）

3. INPUT **INPUTキー(TV)**を押します。
（テレビの入力を切り替える）

4. DVD **DVDデバイスキー**を押します。
（リモコンのデバイスをDVDにする）

5. POWER **POWERキー(DVD)**を押します。
（DVDの電源を入れる）

6. DELAY **DELAYキー**を押します。
（送信間隔をあける）

7. 5 **5 キー**を押します。
（5秒間に設定する）

8. ▶PLAY **PLAYキー(DVD)**を押します。
（DVDを再生する）

9. OK **OK**を押してマクロ設定モードを終了します。

❺設定したマクロを実行するには、❷にて選択したキーを操作します。

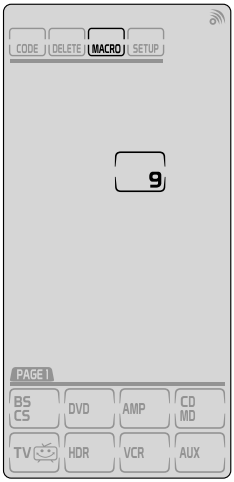
すでに設定済であるマクロ設定を、他のマクロ設定の中に組み込むことはできません。

例えば、リモコン操作（通常使用）しないデバイスがあれば、そのページ（例えば AUX ）に DVD や HDD を表示し、それぞれのマクロを設定すると便利です。

マクロ設定したキーを確認する（テレビの 9 にマクロ記憶済の場合）

❶ デバイスキー TV を押します。

❷ MACRO を押します。すると、マクロ設定されているキーが液晶画面に表示されます。
（右図は 9 に設定されている場合です）



マクロを記録したキーは、確認したいデバイスのページで MACRO を押すことで、いつでも確認することができます。

実行中のマクロを中断する

誤ってマクロを実行してしまった際などに、マクロ動作を中断するには…

❶ マクロ動作実行中に EXIT を押すと、実行中のマクロ動作を直ちに中断することができます。

ビープ音のON／OFFと音色の設定

❶ システム設定キー [SETUP] を**3秒間長押し**して確認画面にします。

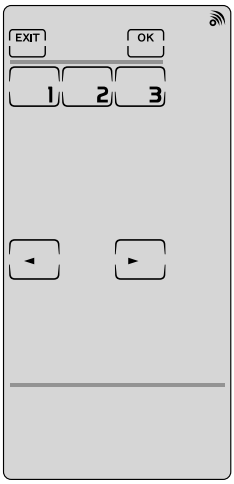
❷ **4つの数字キー**を押し消去すると、液晶画面の上部に **ライト** が表示されます。

❸ [▲] か [▼] を押して 🔊 を表示します。

そして、[●] を押して、ビープ音設定モードにします。

❹ すると、右図が表示されます。
現在のビープ音設定が数字キーで表示されます。

[◄] か [►] でお好みの設定に変更します。



バックライトの点灯時間は以下の通りです。

[1][2][3]	**音質：高**
[1][2]	**音質：中**
[1]	**音質：低**
表示なし	**無音**

❺ [OK]、そして [EXIT] を押して、ビープ音設定モードを終了します。

お買い上げ時は、**ビープ音：高**に設定されています。

バックライトセンサー感度の設定

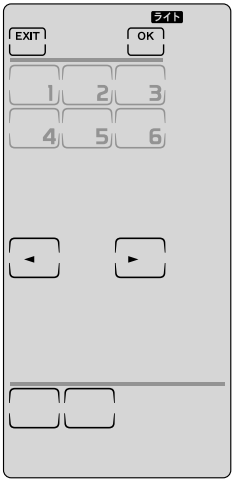
❶ システム設定キー [SETUP] を**3秒間長押し**して確認画面にします。

❷ **4つの数字キー**を押し消去すると、液晶画面の上部に **ライト** が表示されます。

❸ [●] を押して、バックライト設定モードにします。

❹ すると、右図が表示されます。
液晶画面下部に表示されている [　] の数により、バックライトセンサーの感度が決定されます。
表示が多いほど、センサーの感度が高くなります。

[◄] か [►] でお好みの設定に変更します。



センサー感度は8段階に調整できます。

センサー感度：低 [　]

センサー感度：高 [　][　][　][　]
[　][　][　][　]

❺ [OK]、そして [EXIT] を押して、バックライト設定モードを終了します。

お買い上げ時は、[　] が2個の表示に設定されています。

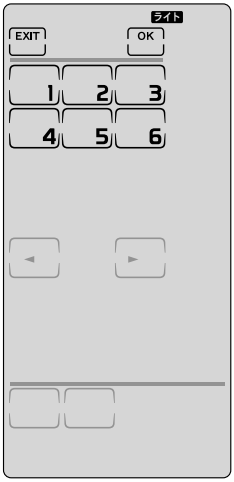
バックライト点灯時間の設定

❶ システム設定キー [SETUP] を**3秒間長押し**して確認画面にします。

❷ **4つの数字キー**を押し消去すると、液晶画面の上部に **ライト** が表示されます。

❸ [●] を押して、バックライト設定モードにします。

❹ すると、右図が表示されます。
点滅している数字が、現在設定されているバックライトの点灯時間です。お好みの点灯時間を選択するには、**1〜6の数字キー**を直接押します。
バックライトの点灯時間は以下の通りです。



[1]	**最後の操作から10秒間**
[2]	**20秒間**
[3]	**30秒間**
[4]	**40秒間**
[5]	**50秒間**
[6]	**60秒間**

❺ [OK]、そして [EXIT] を押して、バックライト設定モードを終了します。

お買い上げ時は、[1] の**点灯時間10秒間**に設定されています。
また、点灯時間の設定が長いほど、電池の消耗は早くなります。

“故障かな?”と思ったら、次の点を確かめてください

症状	原因と処置
液晶画面が表示されない	乾電池が消耗していませんか? 新しい電池と交換してください。**(➡P.8)** 乾電池の方向**＋(プラス)**と**－(マイナス)**が正しく入っていますか?
リモコン操作ができない	お手持の機器を操作するまえに、『リモスタイル』で各機器のメーカー別のコード設定**(➡P.16,17)**、または学習をする必要があります。**(➡P.12)** 操作したい機器に合ったデバイスキーが選択されているか確かめてください。 操作したい機器により近づいてください。 操作できる最大距離は、およそ10メートルです。 (ご使用になる機器やお部屋の条件によって変わります) 操作したい機器に『リモスタイル』が直接向いているか、『リモスタイル』と機器との間に障害物がないかを確認してください。 ご使用の機器によっては、キーを長めに押さないと動作しないものもあります。**(➡P.13)** 操作したい機器は赤外線方式のリモコンですか? また、まれに操作できない機器があります。

症状	原因と処置
他のリモコン信号を学習したのに機器を操作することができない。	設定ページからもう1度学習させてください。**(➡P.12)** 『リモスタイル』からキーコードを削除**(➡P.18)**して、もう1度学習させてください。**(➡P.12)** 必要により操作したい機器の電源を先に入れてください。
学習時に液晶画面に エラー が表示され、学習できない。	正しく学習できませんでした。 正しい方法でもう1度学習をやりなおしてください。**(➡P.12)** 『リモスタイル』の受光部とコピー元リモコンの発光部が正しく向き合っていますか? 距離は5〜10cmにしてください。 距離が近すぎたり遠すぎたりしても学習できない場合があります。 直射日光や白熱灯などの照明機器の光が強くあたる場所では正常に学習できない場合があります。 乾電池が消耗していませんか? 新しい電池と交換してください。**(➡P.8)** まれに学習することができないリモコン信号があります(エアコンなど)。
操作中に エラー が表示された。	操作したキーには何も設定されていません。 他のリモコン信号を学習してみる**(➡P.12)**か、メーカーコードを設定します。**(➡P.16,17)**

“故障かな?”と思ったら、次の点を確かめてください

症状	原因と処置
ビデオなどの ●REC 録画キーが動作しない	『リモスタイル』の安全機能として、**2秒間**RECキーを押さなければ動作しません。
学習に失敗してしまう	乾電池を新品に交換してから操作を繰り返してください。**(➡P.8)** 『リモスタイル』の受光部とコピー元リモコンの発光部が正しく向き合っていますか? 距離は5～10cmにしてください。距離が近すぎたり、遠すぎたりしても学習できない場合があります。 直射日光や白熱灯などの照明機器の光が強くあたる場所では、正常に学習できない場合があります。 メモリ容量がいっぱいです。不要なキーやキーコードを削除してメモリ容量を空けてください。**(➡P.18)** 学習しようとしているリモコンは『リモスタイル』と赤外線信号が互換性をもたないかもしれません。また、まれに学習することができないリモコン信号があります(エアコンなど)。 学習過程では **エラー** が出なかったが、実際にリモコン操作することができない場合、学習を何度か繰り返してみます。**(➡P.12)** それでも学習に失敗してしまう場合、弊社サポートまでご連絡ください。**(➡P.30)**

症状	原因と処置
マクロモードが動作しない	『リモスタイル』を操作したい機器に向けてリモコン操作してください。 『リモスタイル』と操作したい機器間の障害物をなくす。 マクロが適切に設定されていない。**(➡P.20)**
学習したが機器が動かない	赤外線リモコンであっても、一部の機器(エアコンなど)では、リモコン信号の情報が多すぎて学習出来ない場合があります。
液晶画面に何も表示されない	乾電池が消耗していませんか? 新しい電池と交換してください。**(➡P.8)** 『リモスタイル』には、モーションセンサーが内蔵されており、自動的に液晶画面の表示をON／OFFする省電力設計となっています。 液晶画面に何も表示されてない場合は、本体を手に取るなど、本体に振動を与えることにより、自動的に電源ONとなり、液晶画面を表示します。

調子が悪い時はまずチェックを

この取扱説明書を、もう1度ご覧になってよくお調べください。

それでも改善しないときは、下記要領にしたがってください

弊社に修理をご依頼の場合、まず電子メールかファクスで弊社サポートまでご連絡ください。その際、下記の情報をできるだけ詳しくご連絡ください。
ご連絡をいただいた後に、こちらから発送先などをご案内いたします。

□お名前　□お電話番号（昼間連絡可能な番号もご連絡ください）
□製品名　□ご使用環境（使用機器名など）
□購入店／購入日　□症状
□症状発生日　※ご返答までにお時間をいただく場合があります。

電子メールによるサポート受付：support@artea.co.jp
ファクスによるサポート受付：03-5547-2272

弊社では、製品をお送りいただく**センドバックのみ**の修理対応となっております。
また、弊社では下記のサービスは、現在のところ行っておりません。
□電話によるサポート受け付け、および対応
□お客さまお持ち込みによる修理および交換
□出張修理
□修理期間中の代替機貸し出し

修理品を直接お持ち込みいただける体制は取っておりません（お客さまご来店窓口がございません）。

なお、修理品を発送される前に、必ず上記の電子メール、またはファクスにてご連絡いただいたうえで、『リモスタイル』をお送りください。その他の方法では、サポートを受け付けることができません。あらかじめご了承ください。

保証書について

この製品には、保証書が添付されていますので、お買上げの際にお買い上げ店でお受け取りください。
所定事項の記入、および記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。
保証期間は**お買上げ日より1年間**です。

製品が保証期間中の場合には、保証書に記載されている当社修理規定に基づき、無償にて、修理または交換いたします。

保証修理期間外においては、お客様のご要望があれば、有償にて、修理（製品が修理により正常動作する場合に限ります）または交換いたします。

補修用性能部品の最低保有期間について

当社では『リモスタイル』の補修用性能部品（製品の性能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。
この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。
保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げ店、または弊社サポートまでご相談ください。
なお、補修用性能部品の保有期間は通商産業省の指導によるものです。

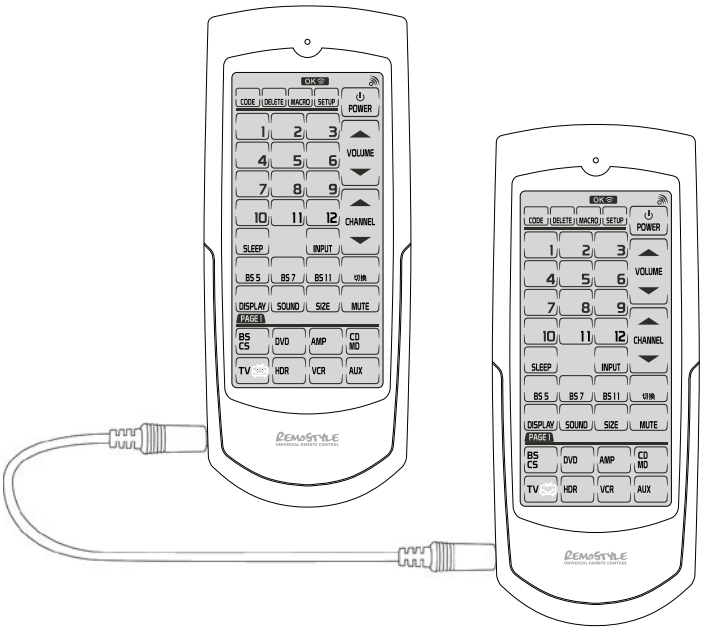
製品に関する最新の情報を入手するには

『リモスタイル』は、多くの赤外線リモコン信号を学習することができますが、まれに学習できない機器（エアコンなど）があります。
対応機種についての最新情報は、下記ウェブサイトをご覧ください。

http://www.remostyle.com/ または、**http://www.artea.co.jp/**

クローン作成（別の『リモスタイル』にデータを送信する）

『リモスタイル』は、別の『リモスタイル』にオプション接続ケーブルを使用して、
ユーザーが設定･学習したキーコードのデータすべてを転送することができます。
つまり、まったく同じ学習内容（クローン）の『リモスタイル』を簡単に作成できます。



※ケーブルは、しっかりと奥まで差し込んでください。

データを転送するには、操作する前に2台のリモコンを、上記接続図のように
別売りオプションの接続ケーブルにて接続します。
『リモスタイル（ARS-3000）』は、他機種へのデータ送信はサポートしていません。
詳細は、弊社ウェブサイトをご覧ください。**（➡P.31）**

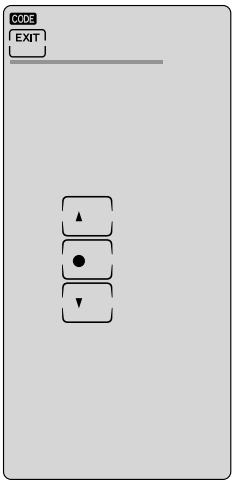
実際にデータを転送しクローンを作成する

❶ **クローン元**となる『リモスタイル』のシステム設定キー [SETUP] を**3秒間長押し**して確認画面にします。

❷ **4つの数字キー**を押し消去すると、液晶画面の上部に **ライト** が表示されます。

❸ [▲] か [▼] を押して **CODE** を表示します。

❹ [●] を押してデータ転送を開始します。



データの転送には、学習の記憶容量により、数十秒から数分間かかります。

データ転送が無事に終了すると、**OK** が液晶画面上部に表示され、**ビープ音が1回**します。
もし、データの送信におけるエラーがある場合、**エラー** が表示されます。

❺ [EXIT] を押して、クローン作成モードを終了します。

上記の操作は、必ず“クローン元となる『リモスタイル』”でおこなってください。
また、別売りのオプション接続ケーブルについては、お買い上げ店までお問い合わせいただくか、弊社ウェブサイト**(➡P.31)**をご覧ください。

型番	ARS-3000
外形寸法	76 × 32 ×190 mm
重量	220g（電池除く） 252g（電池含む）
学習可能な機器数	8機種（各2ページ·最大16機器）
キー数	2ページ × 56キー × 8バンク
バックライト光源	青色LED
学習可能な周波数帯	20KHz～455KHz & Pulse up to 256bits long
内蔵メモリー	512KB FLASH MEMORY
電源	単4型乾電池（アルカリ推奨）× 3本使用
消費電力	液晶OFF時……50μA 液晶ON時……300μA 操作時（最大）……30～150μA
操作可能な距離	約8～10m
接続端子	UART／115,200bps（オプションケーブル使用）
赤外線到達距離	約8～10m
液晶画面のサイズ	58 × 120mm（2.3 × 4.8 inches）

※本機の仕様、および外観は改善のため、予告なく変更する場合があります。
あらかじめご了承ください。

免責事項について

・地震および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。

・『リモスタイル』の使用または使用不能から生ずる附随的な損害、逸失利益（記録内容の変化、消失、修復、事業利益の損失、事業の中断など）に関して、当社は一切責任を負いません。

・取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。

・当社が関与しない接続機器、ソフトウエアとの組合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。

・『リモスタイル』を運用した結果については、上記にかかわらず責任を負いかねますので、ご了承ください。

※本書の内容の一部または全部を無断で転載することは禁止されています。

※本書の内容に関しては、将来予告なく変更することがあります。

※本書の内容については万全を期していますが、万一不審な点や誤り、記載もれなど、お気付きの点がありましたら、巻末または30ページに記載の弊社サポートまでご連絡ください。

REMOSTYLE
UNIVERSAL REMOTE CONTROL

ご相談や修理は…

『リモスタイル』についてのご相談や修理のご依頼は、
お買い上げの販売店にご相談ください。

贈答品やご転居でサポートにお困りの場合は、
保証とアフターサービスのご案内 **(➡P.30)** をご覧ください。

電子メールによるサポート受付：support@artea.co.jp
ファクスによるサポート受付：03-5547-2272
※ご返答までにお時間をいただく場合があります。

その他、『リモスタイル』についての最新情報は、
インターネット上の弊社ウェブサイトをご覧ください。

http://www.remostyle.com/
http://www.artea.co.jp/

ARTEA inc.
アルテアインク 有限会社
135-0062　東京都江東区東雲1-9-11-1206
ファクス：03-5547-2272

Copyright ©2004 ARTEA inc. All Rights Reserved.